凡事徹底(縁)

八代第一中学校
生徒指導通心
第31号　2024.2.2（金）

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践　　綱領：至誠貫徹･真理探究･耐久持続
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』
　　スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦　一中プライド～

『生徒指導2月目標』心を傾けて聴く　聴く力＝傾聴力

【凡事徹底】①姿勢を整え相手を見て
②相手の話に共感しよう　③心で受け止め自ら動こう

船は港にいる時最も安全であるがそれは船が造られた目的ではない

船は、港を出港しない限り安全な乗り物です。一旦外海に出れば、荒れ狂う嵐の時もあれば冬の極寒の日もあります。

しかし、船は、強風や嵐にも耐えられるように作られているので、港に泊まり続けることはありません。

先週末から本当に寒い一週間でした。大雪や路面凍結とまではいかなかったものの、地域によっては、災害が発生するほどの大雪に見舞われた地域もあるようでした。

そんな中、先週１月２３日（火）の私立高校推薦専願等入試に続き、２月１日（木）には、公立高校前期選抜試験が行われました。受験をしたみなさん、本当にお疲れ様でした。当然のことかもしれませんが、受験票をもらう時の表情から、いつもと違う緊張感が伝わってきました。そして、試験が終わった翌日の表情は、「疲れたー」と言わんばかりの緊張感から解放された表情も見られました。しかし、ここからが本番！という仲間も多いと思います。この週末も、気を引き締めた生活を心がけて欲しいと思います。そして、２年生のみなさんには１年後、１年生のみなさんには２年後にこの「受験」の日が待っています。進路選択、進路実現というものは、そんなに甘いものではありません。進路（生き方）というものを本気で考え始める時機にきています。自分の行動を真剣に振り返ることで、自分を伸ばしてほしいと思います。「教育相談」の時間等を活用して、担任の先生にもどんどん質問して下さい。悩みがあったら迷わず話して下さい。

元気ですか！？元気が一番！元気があれば何でもできる！　アントニオ猪木

この道を行けば、どうなるものか危ぶむなかれ。危ぶめば道はなし。
踏み出せばその一歩が道となり、その一足が道となる。
迷わずゆけよ、ゆけばわかるさ。

この詩は、２０２２年１０月１日に７９歳で亡くなったアントニオ猪木さんの座右の銘です。「人は歩みを止めたとき、そして挑戦を諦めたときに年老いていく」のだと、『猪木寛至自伝』で語っています。チャンスが来ているのに踏み出せない。踏み出せば幸運に巡り会えるのに足が動かない。どんなに怖くても、一歩を踏み出さない限り前には進みません。

一歩一歩の足跡が、経験という「道」となります。一直線に行く意味だけが道ではありません。失敗を重ねながらの曲がりくねった道も、自分の道となります。自分で作った道だからこそ、一歩でも前に進むことができれば、そこには今までに見たことのない素晴らしい世界が待っていることでしょう。上手くいかないときこそ、言い訳や誰かのせいにするのでなく、自分に向き合うことで、あらたな景色が見えてきます。「闘魂注入」「道はどんなに険しくとも、笑いながら歩こうぜ」